

Key  
Person



(株)湘南スタイル 代表取締役

# 今井 潤一

建築や不動産のノウハウを活かし、住み良い住まいを提供している今井社長。  
価値観が多様化する世の中において、一人ひとりに寄り添い、  
しっかりとニーズを汲み取り応えるのが、社長のスタンスだ。  
そして、共に働くスタッフが楽しく働ける環境を構築したいとも語る。  
住み良い住宅も働きやすい職場も、その結果生まれるのは人の笑顔であり幸せだ。  
社長が経営者という道を選択した理由もそこにある。  
どうすれば周囲の人を笑顔にできるのか——その手段が独立だったのだ。  
人々の幸せの創出こそを自らの使命とし、社長は経営者として成長を続ける。

「事業を通して幸せを創出したい。  
それが経営者としてのテーマです」

幸



代表取締役

# 今井 潤一

神奈川県湘南エリアで育つ。地域の大工が家を建てる姿に影響を受け、子どもの時から建築関係の仕事に憧れていた。大学卒業後は現場や設計について学び、その中で独立心が芽生えていき『湘南スタイル』を設立した。

## それぞれの価値観に寄り添いながら 幸福を生む住まいを提供したい

新築・リフォーム・リノベーション工事を軸に、不動産売買なども含め住まいに関して広く手掛けている『湘南スタイル』。顧客一人ひとりに寄り添って、ライフスタイルやニーズに即したプランを提案しており、その対応力が高く評価され信頼を得ている。そうした仕事を通して「人を幸せにしたい」と語る今井社長に、タレントの布川敏和氏がインタビューを行った。

### 少年時代から家造りに憧れ 深い価値観を醸成させ独立へ

——今井社長は、子どものころはどんな夢を持っておられましたか。

10歳くらいの時からずっと、建築関係の仕事をしたと思っていました。ですから今は、一応夢が叶ったかたちですね。周りに工務店や大工さんが多く、家を建てている姿を見て子どもながらに「格好良い」と思っていたんです。大学も、建築設計などを学ぶ学部を選んで進学しました。社会に出てからも建築の知識を身に付け、現場経験を積むなどして、技術面でも学んできました。しかし、若い時はただ家を建てたいという思いがあっただけで、独立を意識していたわけではなかったんです。

——それが、どうして独立を志すようになったのですか。

仕事をする中で色々な会社の社長さんとお話する機会にも恵まれ、刺激を受けました。総じて皆さん、大きな目標を持っておられたり日々が充実しておられたり、忙しい中でもとてもキラキラされていたんです。その姿に感化されて、経営者というものに興味が出てきました。そして、直接影響を受けたのは私の前々職の忍足社長ですね。

——社長にとって、お手本になるようなご立派な方だったわけですね。

はい。今なお非常に尊敬しています。どんなに忙しくても楽しそうにしている、場の雰囲気を一変させるような力を持っていらっしゃる。さらに、「何のために働くのか」「なぜ会社が必要なのか」

など、普段深く考えることが少なかったことを改めて、自らに問い直す機会を与えてくださいました。また、同社の佐々木専務も尊敬しており、大変影響を受けました。そんな中で私も自問自答し、厳密には経営者になりたいわけではない、と気が付いたんです。

——と仰いますのは？

自分の考えで、自分が良いと思う環境を構築したいと思いました。さらに突っ込んで、「何のために生きているのか」と考えた時、「幸せになるため」というのが一つの答えで、「周囲の人が笑顔になった時に自分も幸せを感じる」というのが私の価値観だと感じました。それを実現するためには、組織の中においてルーティンで動くだけでは難しいです。それで、前職場で取締役も経験した上で、独

## 株式会社 湘南スタイル

- 新築工事
- リフォーム工事
- リノベーション工事
- 古家再生事業
- 介護リフォーム
- 住宅改修工事
- 不動産売買・仲介
- 資産運用事業

【所在地】

神奈川県平塚市四之宮 4-1-2



立という選択をしたんです。経営者になることそのものが目標ではなく、一つの手段ということです。

——しっかりとご自身の価値観を確立されての独立。実際にスタートされてから、いかがでしたか。

最初は不安もありました。ですが忍足社長から「会社ごっこをしてもダメだ」という言葉をいただき、気合を入れ直すことができました。言うまでもなく、経営は甘くありません。中途半端な心構えでは絶対に成功しないんです。「会社ごっこ」という表現は、そうした意味を込めて私に発破をかけてくださったんだと思っています。そこから改めて「絶対に成功してやる」と、がむしゃらにやってきました。お陰様で、苦勞も乗り越えることができ、現在があります。

——経営者としての覚悟を感じます。

### 多様化するニーズ その一つひとつにしっかり応えたい

——改めて、御社の事業内容をお聞かせいただいてもよろしいですか。

新築、リフォーム、リノベーションなどの建築工事や、不動産の売買・仲介・運用などを手掛けています。その中で大切にしているのが、お客様それぞれのニーズに応えていく、ということです。時代とともに価値観が多様化し、最近では求められる住まいも様々。お客様の声にしっかりと耳を傾けて、そうした一つひとつに確実に応えていきたいと思っています。

——年齢によっても、人気のあるお住まいは違うでしょうね。

その通りです。若い世帯と高齢世帯では、全くニーズが違うんですよ。ですから当社では、壁材などを展示してショールームとしての役割も果たせるようにし、材料1つから直接見て楽しみながら選んでいただけるようにしています。デジタル化が進む現在だからこそ、アナログなコミュニケーションを大切にしたいと思っています。

——親身になってくれそうな安心感がありますよ。

ありがとうございます。「『湘南スタイル』に相談すれば何とかしてくれる」と思っていた存在になりたいです。現在志を共にするスタッフは5名おり、信頼できる仲間にも恵まれて嬉しい限りですよ。今後もスタッフたちとお客様、皆の笑顔を生み出していきたいです。

(取材 / 2022年2月)

### Column 尊敬する恩師の背中

▼今井社長が最も尊敬する人物として、迷うことなく名前を挙げたのが忍足社長だ。毎朝「おはよう」と大きな声で会社に入ってきて、「楽しい」が口癖だというほど、明るく豪快で周りの空気を変える力を持った人だという。経営能力は言うまでもなく、人付き合いや面倒見の良さなども完璧。さらに、毎日忙しいはずであるのになぜか余裕があって見え、今井社長は「こんな人がいるのか」と、その出会いに衝撃を受けたそうだ。  
▼常に経営者としての在り方を自問する姿にも、今井社長は影響されたという。「全員が楽しくて潤うことができる。それが会社のあるべき姿」と忍足社長は語り、人とのつながりの大切さなど様々なことを教えてくれた。そして現在も、今井社長の動向を気にかけてアドバイスをくれるそうだ。そんな、経営の大先輩の背中を追いかけて少しでも近づきたいという思いが、1つの原動力となっている。

### After the Interview

#### 布川 敏和

「今はまだ全力疾走の毎日だそうですが、いずれはゆっくり歩きながらでも安定して成長できる会社になりたいと、今井社長はおっしゃっていました。そうすることでスタッフさんたちの余裕をつくり、公私共に充実させながら楽しく働ける職場を実現したいそうです。今回の対談を通して、とても周囲の方々のことを考えていらっしゃるということが伝わってきました」

